

平成30年度第2回山元町教育委員会臨時会会議録

1. 招集日時 平成30年10月18日(木) 午後3時30分

2. 招集場所 勤労青少年ホーム 講義室

3. 出席委員 教育長 菊池卓郎 委員 大内悦夫
委員 荻原美智絵 委員 齋藤房江
委員 菅野正彦

4. 説明のため出席したもの

学務課長 佐藤兵吉 生涯学習課長 佐山学

5. 本委員会の書記

学務課総務班長 大石知也

6. 開 会 午後3時30分

教育長 平成30年度第2回山元町教育委員会臨時会を開会する。

教育長 日程第1 議事日程の朗読。
学務課長説明願います。

学務課長 本日の議事日程の朗読を行います。
日程第2 会議録署名委員の指名
日程第3 報告第1号 山元町小・中学校再編検討報告書について
日程第4 その他 (1) その他
以上で、ございます。

教育長 日程第2 会議録署名委員の指名
今回は大内委員と齋藤委員になります。

教育長 日程第3 報告第1号 山元町小・中学校再編検討報告書について、
学務課長説明願います。

学務課長 はい。報告第1号 山元町小・中学校再編検討報告書について説明いた
たします。併せて、本日配布しました、小・中学校再編検討の今後のス

ケジュール案、小・中学校再編検討に係る教育委員会スケジュール案についてもご説明いたします。

内容については、随時、報告しておりましたので、主な部分のみ説明いたします。

報告の目次をご覧ください。第1章、平成25年度「山元町小・中学校環境整備方針」概要から第7章、再編を進めるにあたって配慮すべき事項等についてまで、ご覧のとおり章立てしております。

報告書10ページをご覧ください。再編検討の流れですが、検討委員会を14回開催しており、住民説明会、パブリックコメントを経て教育委員会へ報告を受けております。今後、教育委員会としての住民説明会、パブリックコメントを実施し最終的な再編の方針をまとめていきたいと考えております。13ページには住民意向調査結果のまとめ、20ページには教職員へのヒアリング調査の結果、23ページには丸森町小・中学校視察の概要、27ページには住民説明会の概要、31ページには、小・中学校再編に向けた検討のポイント・論点、37ページには、小・中学校再編の方向性として、「小学校の再編における方向性としては、将来的に1学校区として再編を進めるべきと考える、中学校の再編における方向性としては、早期に1学校区として再編すべきと考える」とまとめられています。39ページには、再編を進めるにあたっての配慮すべき事項等について、最後には、「おわりに」ということで、検討委員会からの言葉を頂いております。

次に、小・中学校再編検討の今後のスケジュール案、小・中学校再編検討に係る教育委員会スケジュール案をご覧ください。

このスケジュールに基づき、今後教育委員会として方針をまとめていきたいと考えております。

以上でございます。

教育長

ご質問等を伺う前に私が作成した資料もありますので、ご説明いたします。

配布資料の学校再編とこれからの学校教育の充実について（構想）をご覧ください。

これまで学校再編について検討委員の方々に検討いただいておりますが、教育の中身について、併せて考えていく必要があるのではないかと考えております。

学力向上の課題もありますし、最終的に学校再編と学校教育を併せた形で教育委員会としての方針をと考えました。

今回の再編検討の始まりは、平成25年の教育環境整備方針の延長としての検討であったと思いますが、この学校再編を、今後の本町の学校

教育の充実の起点に出来ればと考えております。

再編の見通しと現状の課題を基に、学校教育の充実を図ることはできないかということで、今の課題として、知、徳、体でみると、知は本町の児童生徒の学力が全国、県の平均を下回っている状況、徳は、被災による心のケアや全国学習状況調査を見ると、小学校では、自己肯定感、夢や目標を持っているなどが、県平均より低く、中学校では、不登校、基本的な生活習慣、学習習慣に落ち込みがみられる、社会への関心も県に比べると低い、体は、体力運動能力調査があるが、これも平均が低い状況なので、これらの課題を踏まえつつ、教育内容の改善、充実を図る必要があると考えます。

また、最終的に小学校1校、中学校1校となるので、小・中一貫校としての取り組みとなっていくのではないかと考えております。

検討委員会からの報告をそのまま方針とするのではなく、そのあたりのことも盛り込んで教育委員会としての方針とし、再編を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

教育長 ご質問等あれば、伺います。

大内委員 小・中一貫校は検討委員会では検討してきたのか。

教育長 検討委員会では、一貫校も視野に入ってくるとの話しはありましたが、積極的にとは報告書には盛り込まれておりません。

教育委員会の方針として小・中一貫校を盛り込むかどうかは検討が必要と考えます。

菅野委員 検討報告書や住民説明会でも小・中一貫校は話題にあがったのみで、今後の検討の課題である。このような状況で小・中一貫校の方針を出すには、検討の時間が足りないし、検討委員会での議論はなんだったのかということになりかねないのではないかと考えます。

大内委員 検討委員会からの報告書を受けて、教育委員会としての方針を策定するので、プラスアルファは必要と考えます。

菅野委員 小・中一貫校にしますではなく、小・中一貫校もありえる程度であればよいと考えます。

荻原委員 小・中一貫校は1つの施設の中に小学校と中学校が入っているものの

みと思っている人もいないのでしょうか。分離型を知らない人もいますので、文言を入れる際には、その辺も詳しく説明する必要があると考えます。

齋藤委員 小・中一貫校と出す場合はメリットなども出す必要があると考えます。

教育長 小・中一貫校については、視野に入れるという程度で出していくということによろしいでしょうか。

また、検討委員会が示した方向性のまま、学校教育の充実を加え方針を出すということによろしいでしょうか。

(「はい」の声有り)

教育長 ご質問等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 それでは、日程第4 その他ですが、皆様から何かございましたら、お願いいたします。

(「無し」の声有り)

教育長 以上をもって、平成30年度第2回山元町教育委員会臨時会を閉会する。

7. 閉 会 午後4時43分

学務課総務班長 大石 知也

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成30年10月25日

会議録署名委員

大内悦夫

平成30年10月25日
会議録署名委員 齋藤房江